

年間指導計画表

教科・科目	理科・地学基礎	単位数	2単位
		学科・学年・学級	普通科・創造表現 第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。
使用教科書・副教材等	教科書:地学基礎(数研出版) 資料集:六訂版スクエア最新図説地学(第一学習社) 問題集:2018セミナー地学基礎(第一学習社) リードLightノート地学基礎(数研出版)

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	各テーマにおいて、興味・関心を持って取り組んでいるか。授業・実験・観察に意欲的に取り組み、より深く理解しようと努めている。	提出物 小テスト 授業態度	10%
b. 思考・判断・表現	各テーマにおいて、地学的な事物・現象について疑問を持ち、問題点を科学的に考察し、そこから導き出した考えを表現することができる。	考査 小テスト レポート 授業態度	20%
c. 技能	各テーマにおいて、実験・観察の技能を習得しているか。また観察・実験の過程や結果をまとめ、考察した考えを表現できる。	考査 レポート 授業態度	10%
d. 知識・理解	各テーマにおいて、地学的な事物・現象について基本的な概念や原理・法則を理解し、それを知識として身につけている。	考査 提出物 小テスト	60%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期前半 (第1回)	4	20	オリエンテーション 1. 固体地球とその活動 ①地球の形と大きさ ②地球の構造 ③プレートの運動とそれに伴う現象 ④火山 ⑤地震と地殻変動 第1回考査	<ul style="list-style-type: none"> 地球の形と大きさについて、歴史的背景を踏まえながら理解している。 地球内部の層構造とその状態を科学的な根拠に基づいて推測し、理解している。 プレートの分布と運動及びプレート運動に伴う大地形の形成について、図や写真を参考にして他者と議論することを通して、プレート移動の考え方を身につけている。 火山活動の仕組みについて、火成岩の観察実習を通して、マグマの性質やプレート運動を関連付けながら理解している。 地震の発生の仕組みについて理解するとともに、最近の震災について議論することを通して防災意識を高める。 				○
	5						○	
	6						○	○
					○	○	○	○
【第1回の評価方法】 第1回考査, 小テスト, 提出物(実験レポートを含む), 授業態度を総合的に評価する。								

前期後半 (第2回)	6 7 8 9	16	2. 移り変わる地球 ①地層の形成 ②古生物の変遷と地球環境 第2回考査	・地層が形成される仕組みと地質構造について、実験の結果を的確に考察し、地学的な根拠に基づいて理解している。 ・古生物の変遷と地球環境の変化について、化石や地層の堆積構造などに基づいて理解している。				○	○
	【第2回の評価方法】 第2回考査, 小テスト, 提出物(実験レポートを含む), 授業態度を総合的に評価する。								
後期前半 (第3回)	10 11 12	14	3. 大気と海洋 ①地球の熱収支 ②大気と海水の運動 第3回考査	・大気の大循環と海水の運動及びそれらによる地球規模の熱の輸送について、観察・実験から考察し、表現することができる。同時に、その考え方を理解している。 ・日本の四季における気象現象について、気圧配置や熱循環の原理・法則に基づいて理解している。	○			○	○
	【第3回の評価方法】 第3回考査, 小テスト, 提出物(実験レポートを含む), 授業態度を総合的に評価する。								
後期後半 (第4回)	1 2 3	20	4. 宇宙の構成 ①太陽と恒星 ②宇宙のすがた 第4回考査	・太陽系の誕生とそれらを構成する天体について、興味を持ち科学的な根拠に基づいて理解している。 ・太陽の表面の現象と太陽のエネルギー源について、観察実習を通して理解することができる。 ・恒星としての太陽の進化を、図や表にまとめながら表現することができる。 ・宇宙の誕生と銀河の分布について理解している。	○			○	○
	【第4回の評価方法】 これまでの評価を加味し、総合的に評価する。								
【年間の学習状況の評価方法】 前期前半から後期後半までの評価を総合し、年間の評価とする。									